

米国銀行の経営破綻について

現時点では局地的な影響に留まると判断

2023年3月13日

主に個別要因による破綻であり、金融システムの健全性は維持されよう

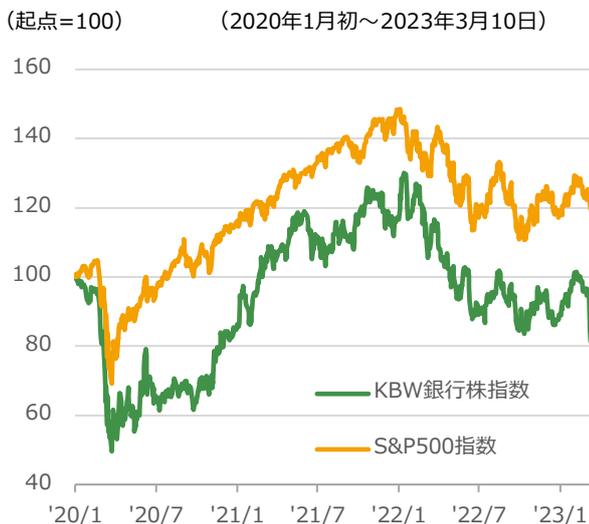
3月10日（現地、以下同様）、シリコンバレーバンク（以下SVB）がカリフォルニア州当局から事業停止の措置を受け、FDIC（米国連邦預金保険公社）の管理下に入りました。また12日にはNY州を地盤とするシグニチャーバンクが同様の措置を受けました。ともに経営不安で預金が流出し、流動性不足に陥ったのが破綻の原因とみられます。ただ、SVBはシリコンバレーの新興企業、シグニチャーバンクは暗号資産関連企業との取引が多いという特色があり、破綻も個別要因によるものとみられます。今のところ大手銀行の財務は健全との見方が一般的です。今後の金融市場などへの影響は、以下のように考えています。

第1に、FRB（米国連邦準備制度理事会）とFDICが破綻2行の預金を全額（通常は1口座25万米ドルまで）保護すると12日に発表したことで、取り付け騒ぎの連鎖のような金融不安は防止されるとみられます。

第2に、金融機関や企業、個人が当座の手元資金を厚くしようとすることで資産の投げ売りや流動性不足が発生する恐れがありますが、FRBが12日に金融機関に対する新たな流動性供給措置を合わせて発表しているため、このリスクが顕在化する可能性も低いと考えられます。

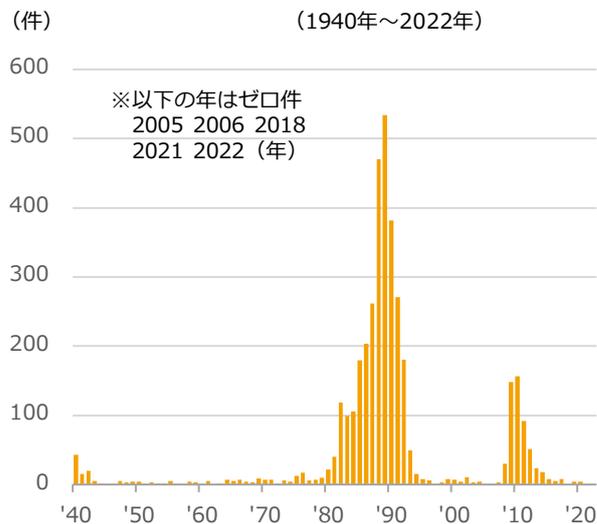
第3に、株式市場などでは疑心暗鬼でリスク回避姿勢が強まると想定されます。一方で、FRBによる利上げ加速懸念などは後退するでしょう。当面は前者が強く、金融市場にはネガティブな影響があるとみられますが、今後の材料も含めて総合的に状況を見極めていく必要があると思われま

米国銀行株指数の推移



※KBW銀行株指数は主要米国銀行を対象とした株価指数
(出所) ブルームバーグ

米国銀行の破綻件数の推移



(出所) FDICより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。